

香川県地震・津波被害想定（第四次公表）の概要

昨年3月に発表した「香川県地震・津波被害想定（第一次公表）」のうち、南海トラフの発生頻度の高い地震（以下「L1」という。）については、内閣府と相談しながら検討したモデルを用いて、震度分布、津波浸水等の推計を見直し、それに基づき、人的・物的被害の推計や被害シナリオの作成等を行った。

1 被害想定

（1）震度分布・液状化危険度予測・津波浸水想定

①震度分布

・市町別の最大震度は5強～6弱となっており、前回公表と比べ、丸亀市、土庄町、小豆島町、多度津町の4市町で、5強が6弱となった。（南海トラフの最大クラスの地震（以下「L2」という。）の市町別の最大震度は6弱～7。）

②液状化危険度予測

・液状化危険度がかかなり高い危険度Aの面積は、県全体の面積の8.3%となっており、前回公表の6.8%から増加した。（L2の危険度Aの占める面積は15.2%。）

③津波浸水想定

・市町別の最高津波水位（満潮位・地殻変動考慮後）は2.3～3.2m（観音寺市）で、前回公表と比べ、丸亀市、観音寺市等6市町で0.1～0.4m高くなった。（L2の市町別の最高津波水位（満潮位・地殻変動考慮後）は2.8～3.8m（高松市・さぬき市）。）

・市町の代表港での最高津波水位（満潮位・地殻変動考慮後）は、2.1～3.0m（観音寺港）で、前回公表と比べ、高松港、丸亀港など6港で0.1～0.3m高くなった。

（L2の代表港別の最高津波水位（満潮位・地殻変動考慮後）は2.7～3.8m（志度港）。）

・浸水面積は、全県で1,091ヘクタールとなり、前回と比べ、994ヘクタール減少した。市町別では、高松市、丸亀市等8市町で減少、さぬき市、東かがわ市で増加となった。（L2の浸水面積は6,983ヘクタール。）

(2) 主な被害想定結果 (最大の場合)

	南海トラフ (L1)	南海トラフ (L2)	中央構造線	長尾断層
建物被害【冬18時】				
全壊・焼失棟数	2,300棟	35,000棟	30,000棟	2,000棟
人的被害				
死者数【※】	120人	6,200人	1,400人	40人
負傷者数【冬深夜】	1,200人	19,000人	12,000人	1,300人
ライフライン被害				
上水道 (断水人口)	226,000人	763,000人	622,000人	205,000人
電力(停電軒数)	88,000軒	587,000軒	486,000軒	153,000軒
避難者数【冬深夜】	59,000人	199,000人	45,000人	4,000人
直接経済被害額 【冬18時】	36百億円	340百億円	213百億円	37百億円

※：L1は夏12時、L2・中央構造線・長尾断層は冬深夜

(3) ライフラインの被害数及び避難者数の推移

① 上水道 (断水人口：人)

	供給人口	発災直後	1日後	1週間後	1ヵ月後	参考(注)
L1	981,000	226,000	65,000	29,000	18,000	17,000
L2	981,000	763,000	554,000	377,000	229,000	208,000
中央構造線	981,000	622,000	402,000	220,000	53,000	25,000
長尾断層	981,000	205,000	58,000	17,000	1,500	590

② 下水道 (支障人口：人)

	処理人口	発災直後	1日後	1週間後	1ヵ月後	参考(注)
L1	501,000	11,000	9,500	1,600	690	690
L2	501,000	141,000	139,000	86,000	61,000	61,000
中央構造線	501,000	30,000	29,000	18,000	1,700	1,700
長尾断層	501,000	12,000	11,000	2,200	40	40

③ 電力（停電軒数：軒）

	電灯軒数	発災直後	1日後	1週間後	1ヵ月後	参考(注)
L 1	590,000	88,000	22,000	7,700	7,700	7,700
L 2	590,000	587,000	269,000	79,000	78,000	78,000
中央構造線	590,000	486,000	188,000	14,000	12,000	12,000
長尾断層	590,000	153,000	28,000	1,700	1,700	1,700

④固定電話（不通回線数：回線）

	回線数	発災直後	1日後	1週間後	1ヵ月後	参考(注)
L 1	244,000	30,000	6,000	930	930	930
L 2	244,000	190,000	80,000	14,000	14,000	14,000
中央構造線	244,000	187,000	72,000	3,700	2,800	2,800
長尾断層	244,000	51,000	9,200	140	140	140

⑤都市ガス（供給停止戸数：戸）

	供給戸数	発災直後	1日後	1週間後	1ヵ月後	参考(注)
L 1	85,000	13,000	3,900	3,200	1,100	470
L 2	85,000	58,000	54,000	52,000	28,000	2,000
中央構造線	85,000	69,000	58,000	56,000	30,000	2,400
長尾断層	85,000	29,000	9,400	7,800	2,400	210

(注)：ライフラインの被害数のうち、今回の対象期間内での仮復旧が困難である津波浸水、火災、急傾斜地崩壊による被害区域における被害数を示す。

⑥ 避難者数（人）

	発災直後			1週間後			1ヵ月後		
	全体	避難所	避難所外	全体	避難所	避難所外	全体	避難所	避難所外
L 1	59,000	35,000	24,000	12,000	7,100	4,800	20,000	6,000	14,000
L 2	199,000	119,000	80,000	132,000	95,000	37,000	230,000	69,000	161,000
中央構造線	45,000	27,000	18,000	90,000	45,000	45,000	71,000	21,000	50,000
長尾断層	4,000	2,400	1,600	8,000	4,000	4,000	4,800	1,400	3,400

(注)：避難者には、自宅建物は大きな損傷を受けていないが、断水が継続されることにより、自宅で生活し続けることが困難となる住民を含む。